事業報告書

令和 3（2021）年度

（第九期）

自 2021（令和 3）年 4 月 1 日

至 2022（令和 4）年 3 月 31 日

公益社団法人 国際演劇協会日本センター

(1) 法人の概況

【公益社団法人国際演劇協会日本センター】

［定時社員総会］ 令和 3 年 6 月 26 日（土） Zoom によるオンライン会議

・令和2（2020）年度第8期（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）計算書類について
　　貸借対照表の承認
　　損益計算書（正味財産増減計算書）の承認
　　貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の附属明細書の承認
・監事より監査報告
・理事候補者選挙結果報告
・役員の選任
（理事）安宅りさ子、安孫子正、伊藤洋、大笹吉雄、小田切洋子、糟谷治男、木田幸紀、坂手洋二、
　　真藤美一、曽田修司、永井多惠子、中山夏織、野村萬斎、林英樹、坂東玉三郎、
　　菱沼彬晁、松田和彦、三輪えり花、吉岩正晴、和崎信哉
（監事）小林弘文、岸正人
・令和2（2020）年度（第8期）事業報告
・令和3（2021）年度（第9期）事業計画、予算について
・会員異動その他

［理事会］
第一回通常理事会　令和 3 年 5 月 29 日（土） Zoom によるオンライン会議
・令和 2 年度（第 8 期）事業報告書及び決算報告書の承認
・令和 3 年度（第 9 期）正味財産増減（修正）予算書の承認
・理事候補者の承認
・監事の再任についての承認
・顧問継続について承認
・定時社員総会の招集
・社員総会終了後の臨時理事会開催について確認
・公益財団法人 JKA からの補助金交付内定を受託し、補助事業（朗読劇『この子たちの夏 1945・ヒロシマ ナガサキ』）を実施することを承認
・謝金規程の修正について承認
・会員異動について （白井晃氏、横堀応彦氏、陸海栄氏、若泉久朗氏 4 名の入会承認）
・令和 3 年度事業の進行状況の報告
・会員異動の報告
・代表理事・業務執行理事の職務状況について報告

臨時理事会　令和 3 年 6 月 26 日（土） Zoom によるオンライン会議
・代表理事、業務執行理事の選任
　・新役員体制の発足に伴い現顧問へ継続を依頼することを確認

・令和 3 年度事業委員会委員の選任
・会員異動
・事務局長代理として横堀応彦氏が選任されたことが報告され了承
・吉岩副会長より従来英連邦部会として活動していた部会名を英語圏部会に改めたいことが提案され了承

第二回通常理事会　令和 3 年 10 月 23 日（土）Zoom によるオンライン会議
【報告事項】
・ ITI 日本センターの財政状況について
・令和 3 年度事業について（中間報告）
　・「国際演劇年鑑 2022」
　・「紛争地域から生まれた演劇 13」
　・「ワールド・シアター・レポート」（休止）
　・「ワールド・シアター・ラボ」
　・「この子たちの夏」
　・「Plays 4 Covid 孤読／臨読～コロナ禍で生まれた海外戯曲～」
　・芸術文化振興基金文化芸術復興創造基金（東京海上ホールディングス株式会社様ご寄付による支援事業）への申請
　・寄付について
・会員異動（内田潤一郎氏、井上卓也氏、斉藤健志氏、３名の入会承認。歌舞伎座の賛助会員への入会承認）
・代表理事・業務執行理事の職務状況の報告
・その他
【協議事項】
・「この子たちの夏」に関する事後評価
・ITI 日本センターの経営改善策について
・来年度実施予定の事業に関する意見交換
　・「国際演劇年鑑 2023」　　文化庁　次代の文化を創造する新進芸術家育成事業
　・「紛争地域から生まれた演劇 14」同上
　・「ワールド・シ

　アター・ラボ」　　文化庁　次代の文化を創造する新進芸術家育成事業
・その他

第三回通常理事会　令和 4 年 3 月 19 日（土）Zoom によるオンライン会議
【報告事項】
1. 令和 3（2021）年度事業の実施に関する報告
・「国際演劇年鑑 2022」
・ワールドシアターデイ　メッセージオーサー　ピーター・セラーズ氏
・「ワールド・シアター・ラボ 2022」
2. 年鑑謝金単価の改訂について
3. 会員異動

4. 代表理事・業務執行理事の職務状況の報告
5.　寄附金の報告

【審議事項】
1. 令和４（2022）年度　事業計画案
2. 令和４（2022）年度　正味財産増減予算書
3. 会員異動（那須佐代子氏１名入会）

【その他】
ITI ニュース　No. 133 の発行
事務局の移転について

［会員状況］
（正会員）　　令和３年４月１日時点・・・206 名（個人会員 204 名 団体会員 2 団体）
　　令和４年３月 31 日時点・・・209 名（個人会員 210 名 団体会員 2 団体）

（R3 年度会員異動）　　入会・・・10 名
　　退会・・・5 名
　　ご逝去・・・2 名

（賛助会員）　令和３年４月１日時点・・・28 社
　　令和４年４月１日時点・・・27 社

（R3 年度 賛助会員異動）　　入会・・・1 社
　　退会・・・2 社

（２）『国際演劇年鑑 2022』の編集・刊行・配布

『国際演劇年鑑 2022 Theatre Yearbook 2022』
（日本語版）世界の舞台芸術を知る『Theatre Yearbook 2022　Theatre Abroad』
（英語版）　日本の舞台芸術を知る『Theatre Yearbook 2022　Theatre in Japan』
別冊　『戯曲集 紛争地域から生まれた演劇 13』
編集（英語版／日本語版／別冊とも）
　　編集長／新野守広　　事業担当理事／曽田修司
　　印刷部数　　日本語版 1050 部　　英語版 1000 部　　別冊　600 部

配布先
『Theatre Yearbook 2022 Theatre Abroad』→ 関係官庁、在日公館、図書館、大学演劇科、執筆者、編集委員、演劇関係者/関係団体、ITI 会員、在外日本大使館、写真提供者など
『Theatre Yearbook 2022 Theatre in Japan』→ 関係官庁、在日公館、図書館、国外関係団体（在外日本大使館、海外図書館）、執筆者、編集委員、写真提供者　等
『戯曲集 紛争地域から生まれた演劇 13』→ 国内図書館、大学演劇科、執筆者、編集委員、ITI 会員等

発行日　令和４（2022）年３月 27 日

【特集企画】
「紛争地域から生まれた演劇 13」リーディング公演
（作品）
The 24 Hour Plays『Viral Monologues』(2020) より５編（訳：月沢李歌子）
1.　「今回の旅行（This Trip)」作：チャーリー・オリアリー（Charlie O’Leary)、出演：熊川隆一（劇団ラッパ屋）
2.「発信者不明（Unknown Caller)」作：ダン・オブライエン（Dan O’Brien)、出演：後藤佑里奈（劇団俳優座）
3.　「訪ねてきてくれてありがとう（Thank You for Visiting Me)」作：ジュ・イー（Zhu Yi／朱宜)、出演：井上加奈子（アル☆カンパニー）
4.　「無敵（Invincible)」作：ジェシカ・ブランク、エリック・ジェンセン
（Jessica Blank and Erik Jensen)、出演：土井ケイト
5.「なによりつらいこと（The Hardest Part)」作：ハワード・シャーマン（Howard Sherman)、出演：平田満（アル☆カンパニー）

出演者自身が各自のスマートフォンで撮影し、その５つの映像を上映・配信した。

《開催期間》
・上映会＋トーク：2021 年 12 月 11 日（土）14:00、12 日（日）14:00（2 回）
ゲスト：11 日（土）竹中香子（俳優)、12 日（日）外岡尚美（青山学院大学教授、アメリカ演劇）
・配信：2022 年 1 月 17 日（月）10 時～23 日（日）23 時 59 分

【会場】東京芸術劇場アトリエウエスト（展示室 2）
＊12 月 8～10 日は仕込み・展示に使用
＊期間中は劇場の音響卓、プロジェクタ、スピーカーセットを使用

《総来場者数》
〇東京芸術劇場での上演：のべ 41 名（収入 40,500 円）
＊一般 27 名×1,500 円、招待 9 名（その他ゲネプロにも関係者を入れた）
〇オンライン配信：のべ 35 名×1,500 円（収入 48,825 円）＊売上 52,500 円から手数料の 3,675 円を引いた額
＊オンライン配信にはロングランプランニング株式会社の Confetti Streaming Theatre を利用

《スタッフ》
総合プロデューサー＝林英樹
票券・制作補佐＝山田真里亜、Real Heaven 佐藤武
舞台監督＝飯田翔
舞台監督助手＝浦弘毅
音響＝斉木和洋

映像撮影・アーカイブ配信映像＝吉本直紀（スタジオ 0033）
チラシデザイン＝奥秋圭
アドバイザリー・グループ／七字英輔、坂手洋二、關智子、新野守広、宗重博之
協力＝国際演劇評論家協会（AICT）日本センター、
一般社団法人日本演出者協会、一般社団法人日本劇作家協会

主催＝文化庁、公益社団法人国際演劇協会日本センター
共催＝公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場
企画制作＝公益社団法人国際演劇協会日本センター

（３）「次代の翻訳者育成セミナー」（「ワールド・シアター・ラボ」）

◎出演者の選考

一次選考（書類応募期間）：8 月 16 日（月）～8 月 22 日（日）
応募者数『サイプラス・アヴェニュー』268 名（対象：20～50 代の男女）、『I Call My Brothers』216 名（対象：30・40 代の男女）
二次選考：『I Call My Brothers』オーディション　9 月 19 日（日）、20 日（月）場所：ファンファーレスタジオ西新宿 5 丁目　参加：40 名
二次選考：『サイプラス・アヴェニュー』オーディション　10 月日 2 日（土）、3 日（日）場所：芸能花伝舎　参加：54 名
出演者：（※印：オーディション応募者）
『サイプラス・アヴェニュー』大森博史、つかもと景子、金沢映実、李そじん※、大石将弘※、森寧々※
『I Call My Brothers』亀田佳明、浅野令子※、近藤隼※、万里紗※、杉宮匡紀

◎「海外戯曲の戯曲読解ワークショップ」（オンライン）＊２作品
『サイプラス・アヴェニュー』（開催日 2021/9/6・9/7・9/10・9/11）
『I Call My Brothers』）（開催日 2021/9/8・9/9・9/11・9/12）
募集期間：7 月 10 日（土）～8 月 10 日（火）　定員：各 10 名　参加費：3,000 円
応募者数：52 名（内訳：『サイプラス・アヴェニュー』25 名（参加：10 名）、『I Call My Brothers』27 名（参加：9 名））

◎「海外戯曲の戯曲読解から場面を立ち上げるワークショップ」（対面、2022/1/16・1/22・1/23）
募集期間：12 月 6 日（月）～12 月 23 日（木）　定員：12 名 参加費：3,000 円
応募者数：46 名（参加：12 名。その後、直前で 4 名が自宅待機等となり 8 名参加）

20 代から 60 代の翻訳者・演出家・俳優・制作者とその分野を志望する方より応募があった。
参加者選考は、翻訳者育成の観点から、翻訳者やそれを志望する方を中心に多角的に WS に取り組めるよう俳優や演出、ドラマトゥルギーを専門とする方を採用した。また、年齢層は 20 代後半から 30 代の方をメインとし、40 代以上の方を少数採用した。

戯曲を通して世界と出会う　「ワールド・シアター・ラボ」2022
リーディング公演・日本初訳初演『サイプラス・アヴェニュー』『I Call My Brothers』
日程：2022 年 2 月 17 日（木）～20 日（日）、会場：上野ストアハウス

◎リーディング公演

■『サイプラス・アヴェニュー』(北アイルランド)Cyprus Avenue by David Ireland
作：デビッド・アイルランド　翻訳：石川麻衣　演出：稲葉賀恵
出演：大森博史、つかもと景子、金沢映実、李そじん、大石将弘、森寧々（※当初は、那須佐代子氏が出演予定だったが、体調不良のため、代役として、つかもと景子氏が出演した）
台本印刷・発送：12 月 29 日（水）　稽古：1 月 28 日（金）顔合わせ　会場：渋谷 Edge、2 月 1 日（火）～13 日（日）会場：ストアハウス B スタジオ
PCR 検査：2 月 9 日（水）　上演台本納品：2 月 9 日（水）
ゲネプロ：2 月 17 日（木）15:00＊スチール撮影
上演日：2 月 17 日（木）19:00、19 日（土）14:00＊映像撮影
入場者数：ゲネプロ 15 名、17 日（木）53 名（有料 46、招待 7）、19 日（土）49 名(有料 45 名、招待 4)

■『I Call My Brothers』(スウェーデン)
原題：Jag Ringer Mina Bröder／英題：I Call My Brothers by Jonas Hassen Khemiri
作：ヨーナス・ハッサン・ケミーリ　翻訳：後藤絢子　翻訳監修：小牧游　演出：小川絵梨子
出演：亀田佳明、浅野令子、近藤隼、万里紗、杉宮匡紀
台本印刷・発送：12 月 29 日（水）　稽古：2 月 1 日（火）～13 日（日）会場：ストアハウス B スタジオ
PCR 検査：2 月 8 日（火）　上演台本納品：2 月 10 日（木）
ゲネプロ：2 月 18 日（金）15:00＊スチール撮影
上演日：2 月 18 日（金）19:00、20 日（日）14:00＊映像撮影
入場者数：ゲネプロ 18 名、18 日（金）57 名（有料 49、招待 8）、20 日（日）57 名(有料 51 名、招待 6)

【スタッフ】舞台監督：廣瀬正仁｜音響：許斐祐｜照明：長尾裕介（LEPUS)、ほか 4 名
映像撮影：吉本直紀｜写真撮影：おおたこうじ ｜ 制作協力：佐藤武（Real Heaven） 、間宮春華 ｜ 制作助手：櫻井拓見、みぞぐちあすみ ｜ 企画立案・プロデュース：林英樹 ｜ ディレクター：柏木俊彦｜制作：村上理恵

※PCR 検査をリーディング上演に関わる関係者全員 30 名に実施。演出 2 名、出演者 12 名、スタッフ 16 名（舞台 1、音響 1、照明 5、撮影 2、当日運営 2、プロデュース・制作 5）

◎文化庁委託事業「令和3年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」
次代の翻訳家育成セミナー「ワールド・シアター・ラボ」
主催　文化庁、公益社団法人　国際演劇協会日本センター
企画制作　公益社団法人　国際演劇協会日本センター

（4）『この子たちの夏1945・ヒロシマ ナガサキ』

朗読劇『この子たちの夏　1945・ヒロシマ　ナガサキ』の上演（東京公演）
【期間】2021年8月7日（土）13時・17時、8日（日）14時（全3回公演）
【会場】シアタートラム
【構成・演出】木村光一
【演出助手】シライケイタ
【出演者】旺なつき、かとうかず子、古村比呂、高橋紀恵、床嶋佳子、西山水木、
根岸季衣、原日出子
短歌・俳句の朗読：高安智実、鈴木麻美、今野美彩貴、高橋瑞葵、
中川涼香、横田明日香、領家ひなた
声の出演：北村和夫
【主催】公益社団法人　国際演劇協会日本センター・地人会新社
【提携】公益財団法人　せたがや文化財団　世田谷パブリックシアター
【後援】世田谷区／世田谷区教育委員会
公益財団法人JKA 令和3年度　親と子のふれあい交流活動補助事業

地方公演は8月14日から9月3日にかけて、以下9箇所で行われた。
延岡総合文化センター、北見芸術文化ホール（中ホール）、砂川市地域交流センター　ゆう、
長万部町学習文化センター、下呂交流会館アクティブ　泉ホール、守山市民ホール（大ホール）、春日井市民会館、跡見学園中学校、豊島岡女子学園高等学校

（5）『Plays 4 Covid 孤読/臨読 ～コロナ禍で生まれた海外戯曲～』

リーディング公演：4 作品
期日：2021 年 9 月 16 日（木）～19 日（日）
会場：シアターグリーン　BASE THEATER にて
配信：2021 年 9 月 18 日（土）～24 日（金）
文化庁 ARTS for the future! 補助対象事業
第 33 回 池袋演劇祭参加

【A プロ】計 3 回の上演
短編集『ひとり、ともに。－Alone, Together－』より（アメリカ）
『それでも私はこうしてここに』　作：リン・ローゼン
『ママの子どもたち』　作：ジェイムズ・スティル
『Zoom オーディション』　作：ジェイミー・ブランドリ
翻訳：浜野浩一
演出：新見真琴

出演：品川恵子（エ・ネスト）、馬場太史（劇団俳優座）、明澄、佐藤知恩

『隔離』（中国）
作：李 健鳴

翻訳：菱沼彬晁
演出：奥田知叡
出演：辰巳次郎、山下裕子（劇団俳優座）

【B プロ】計 3 回の上演
『さあ、未知の劇場の姿とともに』（ドイツ）
作：デーア・ローアー
翻訳：庭山由佳
演出・出演：三輪えり花

『橋の上のワルツ』（アイルランド）
作：ソニア・ケリー
翻訳：石川麻衣
演出：青柳敦子（テアトル・エコー）
出演：金子貴伸（ベルジネタレントエージェンシー）、一谷真由美（演劇集団円）、
　　田中英樹（テアトル・エコー）

【チケット/税込み】
劇場一般　3,000 円　　劇場ユース（25 歳以下）　2,000 円
AB セット券　一般 5,000 円　　AB セット券　ユース 3,000 円
配信　2,000 円

【総観覧数】
劇場：206 枚　劇場チケット売上総額 ¥510,000（消費税込み）
配信：126 枚　配信チケット売上総額 ¥252,000（消費税込み）
合計：332 枚　総計 ¥762,000（消費税込み）

主催：公益社団法人国際演劇協会日本センター
企画制作：戯曲翻訳部会

（6）後援

・「2021 年度文化庁次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」
　2021 年度　全日本バレエ・コンクール
　日時　2021 年 8 月 11 日～15 日
　会場　メルパルクホール
　主催　　文化庁、公益社団法人日本バレエ協会
　制作団体　公益社団法人日本バレエ協会

・「第 1 回伊藤熹朔記念賞選考展」※使用承諾 2022 年 3 月 7 日送付
　2022 年 4 月 13 日（水）～2022 年 4 月 17 日（日）

会場　東京芸術劇場アトリエウエスト
主催：一般社団法人日本舞台美術家協会
後援：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場

（7）広報事業

◆ITI ニュース No. 133 を発行（2022 年 1 月 31 日）

◆ITI ウェブサイト、Facebook、Twitter を随時活用

◆「国際演劇年鑑」（Theatre Yearbook）の最新号とバックナンバーを ISSUU（インターネット上の出版物・カタログ共有・配信サービス）システムで公開中。

（8）その他

◆「紛争地域の演劇」セミナー
ITI 本部、ITI イタリアセンター主催「紛争地域の演劇」セミナー第 5 回に参加
日時：2021 年 4 月 8 日（木）、場所：オンライン開催
参加者：ITI 加盟各センター
The 5th Seminar of Theatre in Conflict Zones に ITI 日本センターが参加。ITI 日本センターの独自企画として 2009 年から「紛争地域から生まれた演劇」のリーディング公演を毎年継続的に行っていることを紹介した。

◆「ワールドシアターデイ 60 周年イベント」
ITI 本部主催「ワールドシアターデイ 60 周年イベント」における 60 の各国センターのビデオ・プレゼンテーション（2 分間）に日本から坂田ゆかり氏が参加した。
日時：2022 年 3 月 27 日（日）、場所：オンライン開催
参加者：ITI 加盟各センター

［事業報告の附属明細書］
事業報告の内容を補足する重要な事項はありません。